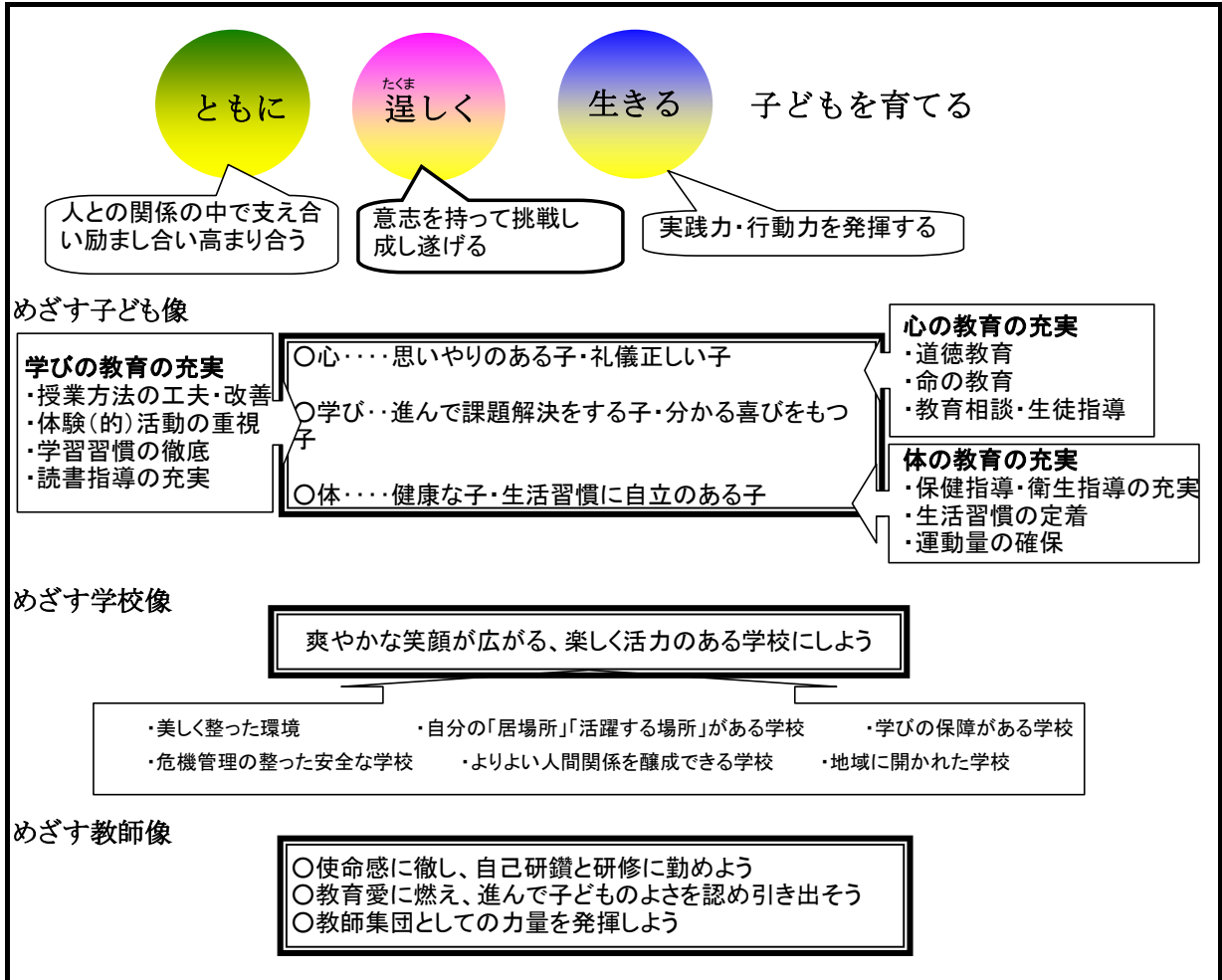


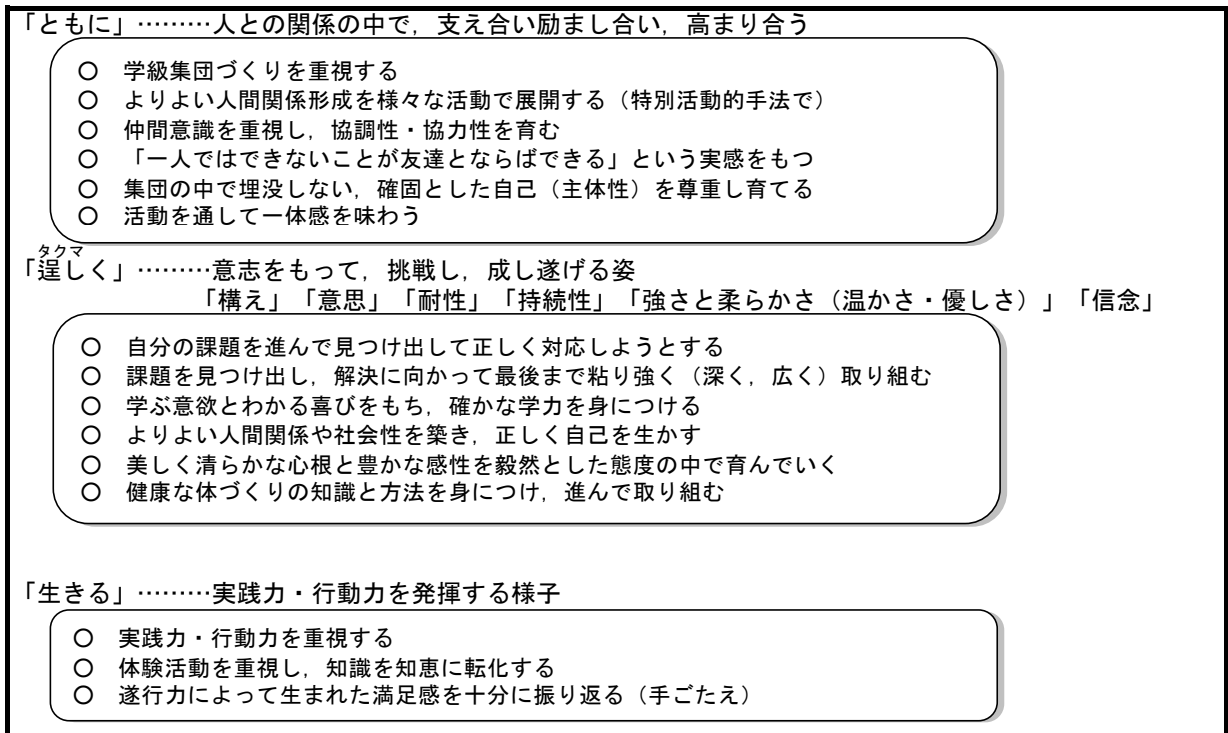
# 平成23年度教育課程

## 1 教育目標

### (1) 学校の教育目標



### (2) 目標を達成するための基本方針



## 2 本校の教育の特色

明・静・美の校風のもと

明るさと、穏やかさと、美しさを求めて

- ◎ 逞しい子どもを保護者・地域とともに育てる学校
  - 「心の逞しさ」たとえば正しいことは正しいのだと立ち向かう心を見せたとき、
  - 「学びの逞しさ」たとえば投げ出さずに問題をやり遂げる姿を見せたとき、
  - 「逞しい体」のために自ら生活を律したときなどを見つけ、ほめ、励ます。
- ◎ あいさつの声が響く学校

### 3 教育計画

#### (1-1)本年度の教育のスローガン

- 心・学び・体の3部体制を組織し、目的的な教育活動を行おう
- 心の教育を充実することで、「学力の向上・安定」と「心身の健康」を図ろう
- 児童の個性(よさ・持ち味)の発揮とよりよい集団づくりをすすめよう
- 校舎工事に対応し、児童の安全安心な学校生活の保障をしよう

#### (1-2)本年度の教育の重点

- (1) 児童の、個性(よさ・持ち味)の発揮とよりよい集団作りをすすめよう
  - 個と集団が輝く学級づくりを進める
  - 特別活動的手法(集団形成・主体性・課題解決・実践までの意欲)を大切にする
  - 特別支援教育の推進……子ども理解と保護者支援
  - 異年齢たてわり活動を充実する
- (2) 児童の主体性を伸ばす授業づくりを創意工夫しよう
  - 国語科・算数科を中心とした基礎学力を定着させる
  - 授業力を磨くために、進んで研修・授業公開をする
  - 体験活動を積極的に取り入れる
  - 「考える・深める」時間(話し合い活動など)を積極的に取り入れる
  - 読書活動を工夫し、充実する
- (3) 「内で」「外に」開かれた、開放感と信頼度の高い職員集団と学校づくりをすすめる
  - 連絡体制と情報交換を密に
  - 行動力とフットワークよく
  - 開放的な学級と職員室と学校に
  - 「よりよい教育者であろう」とする自己研鑽の姿勢を
  - 「地域の力」を意図的に各所に取り入れる
  - PTA活動や地域活動との連携を強化する

#### (2-1)幼保小中連携の取り組み

##### 【幼保小連携】

- ◎ 一貫した学びの指導法の工夫改善
  - ・ プレスタディ「えがお」からソフトプログラム「わくわく」への移行を、効果的につなぐための幼保小連絡協議会の開催
  - ・ 本校で作成した基本的な学習習慣と生活習慣の定着のための「いきいき 新栄っ子カード」の内容についての共通認識と推進
  - ・ 3学期に就学児を対象とした主な幼稚園、保育園の参観
- ◎ 計画的な子ども同士の交流、職員間の交流の実施

- ・ 幼稚園・保育園の年長児の一日体験入学や運動会への参加を通じた、幼稚園・保育園児との交流の推進
- ・ 教職員の幼稚園・保育園での職場体験を通じた、幼稚園・保育園との交流と体験の充実

### 【小中連携】

- ◎ 学力を支える学習習慣の形成
  - ・ 読書タイムの設定(金曜日)
- ◎ 学力を支える生活習慣の形成
  - ・ あいさつ指導の徹底(朝のあいさつ運動の継続・小中一貫の指導の推進)
- ◎ 学校間交流の推進(6年担任、児童の交流から学校全体の交流になることを意識して)
  - ・ 小中学校間の授業公開
  - ・ 「中学校体験入学」の工夫と充実(小学校同士の混合グループ・授業体験・部活紹介)
  - ・ 「ようこそ先輩」の実施
  - ・ 中学校に於いて小学校三校間の交流会(小小連携)
  - ・ 中学校教諭を招いたT・T授業

### (2-2)いじめ・命を考える取り組み

- ◎ 毎月1日の取り組み
  - ・ 朝の時間・昼の放送を活用した計画的な全体指導や命の尊重に迫る学級活動の充実
- ◎ 集会や授業の充実
  - ・ 人権集会、学年集会、全校集会などでの計画的な指導や教科横断的な指導
- ◎ 生徒指導・教育相談部会、協議会での情報共有と効果的な活用
  - ・ 児童理解と「個や集団のよさ」を見つけ伸ばす指導体制
  - ・ 指導方針の決定と共通理解、「なんでも話してねカード」やアンケートの実施と活用

### (2-3)市民性を育む取り組み

- ◎ 多くの人と関わる交流授業を6ヶ年間の見直しをもって仕組み、人と出会い、一緒に活動することを通じた、めざす人物像の育成
  - ・ 総合的な学習の時間・生活科の年間計画に「市民性を育む教育」の視点を取り入れた地域との連携の推進
  - ・ 実践を通して、児童の視点で地域を見つめさせることによる、地域や地域の人々との関わりの充実
  - ・ 児童の地域行事参加を促す情報提供と「まなざし運動」と連携した「新栄ふれあいカード」の活用の推進

### (3)指導の重点

各教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 指導方法の工夫改善           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決型学習に取り組み、学習者としての児童の主体的な学びを位置づける。</li> <li>・ 国語科を中心として学習過程に「なかよし学習」「ふれあい学習」を積極的に取り入れ「読み」の深まりやコミュニケーション力を意図した授業改善に全職員で取り組む。</li> <li>・ スキルタイム(朝の「新栄つ子タイムⅠ・Ⅱ」と算数開始時の「30秒計算」)の充実を図る。</li> <li>・ 算数科でのTT少人数指導を工夫し、充実する。</li> <li>・ 地域人材を活用し、専門性に恃んで、学習の密度を高める。</li> </ul> </li> <li>◎ 体験(的)活動の重視           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践的な学びや体得を重視し、学習スタイルを豊かにする。</li> </ul> </li> <li>◎ 学習習慣の徹底           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習に向かう基本的な準備態勢を整え、学習の構えを学年や全校で共通化し、学習習得の効率化や向上を図る。</li> </ul> </li> <li>◎ 読書指導の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝の「読書タイム」の定着や、図書館貸し出し数の増加を図り、読書活動を推進する。</li> </ul> </li> <li>◎ 保健指導・衛生指導の充実</li> </ul>
-----	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健室を基点とした健康教育を意図的計画的に行う。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 心の教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>年間の授業参観日やフリー参観デーにおいて、「ふれあい道徳」の授業公開を行う。ここでは、多様な学習活動を展開し、親子で道徳的価値、特に生命尊重を考える機会をもつ。</li> <li>「心のノート」の活用、読み聞かせ等の読書指導と関連づけ、情操的な教育活動や倫理観・社会規範意識を育成する。</li> <li>毎月1日は「いじめ・いのちを考える日」の取り組みとして、道徳の価値項目と関連させ、計画的に子どもに寄り添ったところの教育を推進する。</li> </ul> </li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 地域人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>クラブ活動や学校行事、各教科においてゲストティーチャー・学習支援ボランティアとして協力を得、地域連携を推進する。</li> <li>「市民性を育む教育」との関連を図る。</li> </ul> </li> <li>◎ ふれあい活動(たてわり活動)の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>異学年の交流である「ふれあい活動」において、集団遊びや長縄大会を設定し、心の教育とも関連づけ、協力や仲間意識を育てる。また、高学年のリーダーシップを育てる。</li> </ul> </li> <li>◎ 専門性の高い教職員の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>専門性の高い養護教諭を積極的に授業に位置づける。</li> </ul> </li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 環境教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>4学年の総合的な学習、社会科、道徳を関連づけ、地域のゲストティーチャー等を活用し、体験的活動を取り入れ、環境ボランティアを意識した環境教育を推進する。</li> <li>特別活動とも関連づけ、児童会を中心に省エネ・ごみの減量に取り組み、環境ISOを推進する。</li> </ul> </li> <li>◎ 国際理解教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>アジア近隣諸国の歴史や文化に対する興味関心を高める。</li> </ul> </li> <li>◎ 市民性を育む教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携を通して、体験活動を核にした学習を展開する。また、ボランティア掃除等の活動を通して、地域に愛着をもたせ、佐賀市民としての自覚を育む。</li> </ul> </li> </ul>
(小)外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 国際理解教育の推進</li> <li>◎ 英語活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>英語活動を全学年(1～4年10時間、5・6年35時間)で実践し、発達段階に応じた単元作り・授業展開・教材教具の工夫改善を行っていく。また、英語ノートも工夫しながら有効に活用する。また、中学校教諭を招き、T・Tとして授業を仕組む。</li> <li>外国語を用いて、コミュニケーションを図る楽しさを体験し、言語を通してコミュニケーションを図ることの大切さを知る子どもを育成する。</li> </ul> </li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 生徒指導・教育相談協議会の工夫改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>月1回の協議会を児童理解と「個や集団のよさ」を見つけ、伸ばす。また、職員の研修の場とする。</li> <li>問題行動の対応のみならず、「新栄っ子のやくそく」を見直し、確認し、共通理解を図り、規範と規律を整える。</li> <li>教育相談体制をベースに、家庭環境の変化や登校状況等の児童の情報を共有する。また、グループローラー作戦を行い、全職員で共通理解のもと、支援にあたる。</li> <li>魅力ある学校づくりや学級での心の居場所づくりに取り組む。</li> </ul> </li> <li>◎ 「あいさつ運動」の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>祖父母の会(毎週水曜日)や保護者(毎週金曜日)の参加協力を得て、子どもとともに全校の取り組みとして、地域と一体となった「あいさつ運動」を推進する。</li> </ul> </li> <li>◎ 交通安全並びに防犯指導等の徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>全職員が危機管理意識を持ち、交通安全教室や不審者対応の訓練等を行い、「自分の身は自分で守る」という意識を育てる。(警察署との連携)</li> <li>保護者や地域と連携し、児童の見守り体制(交通指導員・自治会・保護者)があることを意識づける。</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 休業日の生活指導の徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者や地域と連携し、非行・事故防止に努める。</li> </ul> </li> <li>◎ 携帯電話(メール)の取り扱い <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校への持参はさせないように指導する。また、情報モラルやマナーの指導を徹底する。</li> </ul> </li> <li>◎ 運動量の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動場の使い方の提案、共遊の時間の確保・工夫をし、遊びづくりをしながら運動量を確保する。</li> </ul> </li> </ul>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の研修や情報交換・共有を積極的にすすめ、個を生かし、よりよい集団作りに努める。</li> <li>・ 子ども理解につながる検査や専門機関との連携につなげるため、スクールカウンセラーに助言を求めながら保護者への啓発を推進する。</li> <li>・ 個別指導計画の実践と見直しを行い、個別教育支援計画の充実を図る。</li> </ul> </li> </ul>
人権・同和教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 人権・同和教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳や特別活動、人権集会等を活用し、自己肯定観や他者理解を高め、支持的風土作りを行う。</li> <li>・ 人権課題についての職員研修や人権・同和教育資料集等を活用した職員研修を行い、全職員の共通理解を図り、人権・同和教育を推進する。</li> </ul> </li> </ul>
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 体験(的)活動の活用と地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中・高学年のボランティア体験を有効に活用し、仕事の大変さや意義、達成感等を引き出し、将来の進路に対する認識を高める。</li> <li>・ 税務署員や地域のゲストティーチャー・学習支援ボランティアとの学習を通して、勤労観や職業観の育成を図り、将来への夢や生き方を考えさせる。</li> </ul> </li> </ul>
教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 生活習慣の定着(いきいき新栄っ子カードの活用) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「早寝・早起き・朝ごはん」の保護者への啓発を徹底する。</li> <li>・ 訪問支援指導員とともに、登校状況の気になる児童に対応する。</li> </ul> </li> <li>◎ 保護者・地域の理解、協力を得るための情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的なホームページの更新と校長便り、学校、学級、学級通信の発行やタイムリーな学校情報メールの送信</li> </ul> </li> <li>◎ 食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年の指導目標を設定し、年間指導計画(いきいき新栄っ子育成プラン)に基づき、食育を推進する。</li> <li>・ 給食時の放送で児童の食に対する関心を高めるとともに、ホームページで献立等を紹介し、保護者や地域の「食」への関心を高める。</li> </ul> </li> <li>◎ メンタルヘルスの視点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話しやすく居易く、余裕とゆとりのある職場環境作りに努める。</li> </ul> </li> </ul>